

---

# **俺から始まる変な日常**

管理局の黒い天使

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺から始まる変な日常

### 【Zコード】

N9776L

### 【作者名】

管理局の黒い天使

### 【あらすじ】

この俺 尾崎 瞬はある日黒いノートを拾った、日神様の間違えで死んでしまった、神様は俺を転生させると言つているが…  
注）ネタパクリまくりの話です。

死ぬ？転生？神様？（前書き）

初めてだから許してくれ。

## 死ぬ？転生？神様？

突然だが今俺の田の前に黒い鉄球が迫ってきてる…なにこれOK  
まずいろいろ確認しよう。

俺の名前は 尾崎 瞬（21）もう一度学生時代を楽しみたいNEETだ。また、そこの奴、携帯を片手に後ろに下がっていく俺は別に口利ではないぞ21歳だくつづけて読むなよ俺だつて21歳になりたくなかったや。

今日も朝の散歩に行つたんだ。そしたら黒いノートを拾つたんだ。  
「これは…デノート…」これで俺は新世界の…」 そうだそんな事を考えながら家に帰ろうとしたんだ。そして今の状況…

「つてこのノートの所為じやん！てか同じデスートでも持ち主が死ぬじやん！」

俺に鉄球が当たる寸前、俺は言わないといけない台詞が頭によみがついた。

「我が生涯に一片の…」

AM 3:27 俺は死んだ。

気がつくと俺は辺り一面真っ白な所にいた。

「ここは…」

よく周りを見渡すとベビーカーが一つぽつんとあった。

「何故ベビーカー？」

中を覗いてみるとサングラスをかけてタバコをくわえている赤ん坊がいた。

『おうつガキすまんな間違つてお前さんを死なせてしまった』  
赤ん坊にガキつて言われちましたよ。つーか間違いで殺される俺つて…

『ついでにお前さんを転生させようと迷いつんだがどんなのがいい?』

「えっ俺で選べんの?なら学園で生活したい

『ふーんまあいいや学園なわかつた。じゃあ少し変な所だがなかな

か楽しい所だまあ気ままにやれじやあな~』

一  
は?  
「

俺の足下にいきなり黒い穴が空いた。

**死ぬ？転生？神様？（後書き）**

次回は何か友達が出来る予定。

新世界？罠？友達？（前書き）

まあとりあえず書いてみた

## 新世界？罠？友達？

…今俺は悩んでいる。ん…何故か？それは…今すんだこに壱だからパラシューートなしでスカイダイビングしてるからやー！

「つぎやあああー」

とりあえず叫んでみた。

『聞こえるかいスーク』

神（？）から頭中に通信が入った。

「なんだオターン」

『空の気分はどうだい？』

「最高にハイってやつだーー！」

『まあ後は頑張れ』

「えつ助けてくれないの？」

『帰つて寝る今日はしんどい』

「ふざけんなー！」

『ああそうだ、お前さんにてべつか魔法っぽいの使える様にしたから』

「まじですかー！」

『まあ一つだけ魔法っぽいの教えてやるから他の自分で見つけろ、後このよくわからぬ臭いがする杖あげるから自分で何とかしな』

『なら早く教えろこの芋虫が』

『口悪いな～まあいい、まず右手を握りしめて今必要とするものを想像する』

俺は右手を握りしめて想像した。

『以上、後は頑張りな』「それだけかよ！」

そして俺は一本の木にぶつかった…

その後、彼の行方を知るものは誰もいなかつた…

つて俺死んでないよ！まあ変な縄の罠に引っかかつて身動きとれな  
いけど。つーかどうしようかこれかそんな事を考えていると

?『おう、誰か俺の罠に引っかかつてんな。』

木の下に学生服を着た短髪の男が立っていた。

瞬「すまないが助けてくれないか？』

?『いいぜ、助けてやるよ。』

瞬「助けてくれてありがとう」

？「俺は 杉並 ともや 君は」

瞬「俺は 尾崎 瞬だ」

杉並「見たところ君は転入生かな？」

瞬「ああそうだ」

杉並「なら寮まで送るつか？」

瞬「ああ頼むよ」

そして俺達は寮に向かって歩き出した。

新世界？罷？友達？（後書き）

一回書いたけど間違えてけしかまつたよー

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9776/>

---

俺から始まる変な日常

2010年10月10日04時03分発行